

【お知らせ】

UNESCO・平和芸術家 二村英仁氏へのユネスコ協会からの 演奏等のご依頼について

UNESCO・平和芸術家であるヴァイオリニスト二村英仁氏には、これまでご本人のご厚意で東日本大震災の被災地や全国大会、地域のユネスコ協会のチャリティイベントで素晴らしい演奏や募金活動などをして頂いております。

これまで各地ユネスコ協会からの依頼は同氏の個人事務所が直接ご対応されていましたが、今後は日本ユネスコ協会連盟を窓口とさせていただきます。今後、同氏に演奏依頼がある場合は個人事務所ではなく必ず国内事業部尼子、仁藤 (03-5424-1121 nitou@unesco.or.jp) までご連絡ください。

宜しくお願い致します。

【二村英仁氏プロフィール】

9歳から16歳まで毎夏渡米し、ジュリアード音楽院の故ディレイ女史に個人教授を受ける。東京芸術大学附属高校を経て同大学卒業。’94年パガニーニ国際コンクール第2位。’95年日本国際音楽コンクール第1位。その他幼少の頃よりコンクールにて優勝。’96年出光音楽賞受賞。紛争地での活動など多くの社会貢献が認められ、’98年UNESCOより日本人初の「ユネスコ平和芸術家」に任命された。多数のテレビ・雑誌等のメディアに取り上げられた他、国内主要オーケストラをはじめ、海外オーケストラとの数多くのコンチェルト共演を重ね華々しいキャリアを築く一方で、音楽を通じて社会貢献活動に取り組んでいる。所有楽器は1707年製ストラディヴァリ“Stella”。

